

[2024 - 2025]

ANNUAL REPORT

 ホールマース自然学校



豊かな「自然語」があふれる未来に向けて



Our Vision

私たちホールアース自然学校は

1人ひとりが「人・自然・地域の共生する暮らし」の実践を通じて、
感謝の気持ちと誇りを持って生きている社会を目指しています。

ー 2024 年度の活動実績 ー

学校向け教育旅行プログラムや企業のCSR活動の支援など、
2024年度も企業・行政・学校・NPO・市民など様々なセクターと活動を展開し、5県8拠点で協働の渦を生み出しました。

TRACK RECORD

教育旅行 プログラム



326団体

31,317人

自主事業



245回

11,664人

企業研修



23件

680名

インタープリター 育成



約 500名

コンサルタント 業務



34 件

topics

2024-2025

TOPIC 01

今年度も山陽製紙株式会社様より
温かい寄付をいただきました



山陽製紙株式会社(本社：大阪府泉南市)が提供するオフィス古紙の回収・アップサイクルサービス「PELPI(ペルプ)」。

その売上の一部が、Patagonia社の「1% for the Planet」を通じて、私たちの活動支援に充てられています。循環型社会への貢献に高い目標を持って尽力されている山陽製紙株式会社の社員様一人ひとりの思いを、私たちは環境教育の推進の中で活かしていきたいと考えています。温かいご支援に心より感謝申し上げます。

TOPIC 02

「徳之島世界遺産センター」のインタープリテーション計画策定を支援



2021年7月、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録されました。そして、2024年には「徳之島世界遺産センター」がオープン。島の生態系とそこで育まれた文化を学べる拠点として注目されています。私たちは環境省から委託を受け、当センターの職員や島の関係者とワークショップを重ねながら、当センターが果たす役割、展示や解説の方向性などを示した「インタープリテーション計画」の策定を支援しました。

TOPIC 03

富士山麓の現場で学ぶSDG s
地域課題に挑む、体験型企業研修



チームビルディング研修に加え、地域課題に向き合いながらSDGsへの理解を深める企業研修も実施しました。管理が行き届かなかった竹林や茶畑は、シカやイノシシによる農作物被害をはじめ、富士山麓の景観悪化や土砂災害のリスク増大といった地域課題を引き起こします。こうした問題をただ学ぶだけでなく、実際に竹林や茶畑で作業を行うプログラムを通じて、参加者が汗を流しながら自らの体験としてSDGsを捉えられるよう工夫しています。

TOPIC 04

猪苗代湖まで徒歩2分、可能性無限大の社会教育施設「郡山市少年湖畔の村」の運営がスタート



福島県での事業をスタートして干支がひと周りしました。この春、拠点を置く郡山市湖南町にある社会教育施設の指定管理者として運営をスタート。好立地かつ、団地で宿泊することができる町内唯一無二の施設なので、地域に長く滞在して魅力を知ってもらうためにも、地域に必要不可欠な存在として運営を決めました。今後、少しずつ改善と周知に努めていきたいと思っておりますので、発展にご期待ください！

1

@ SHIZUOKA
富士山本校

アドベンチャージュニア

全7回・毎月開催(学校長期休業期間を除く)、各回1泊2日または2泊3日

富士山麓の四季の移り変わりを感じながら、
自然の中で思いっきり遊びつくす

小学生を対象に、一年を通して、富士山麓の四季を感じる自然体験キャンプを実施しました。シャワークライミングやサイクリング、登山、スノートレッキングなどの活動を通じて、自然の中で思いっきり遊び、自然への親しみを深めることを目指しました。さらに、たけのこ掘りや山菜採り、木こり体験、魚のつかみ取り、鹿の解体などを通して、自然の恵みに触れ、命の循環を実感できるよう、多様なプログラムを取り入れました。

参加者アンケート

（参加者より：キャンプ日記より抜粋）私は木をきるのが楽しかったです！すごく大変だったけれど、がんばったので、ことができました。のこぎりで切りこみを入れるのをがんばりました。明日は、この木を使ってアロマ水・キーホルダーを作ります。自分たちでできた木なので、大切な思い出になると思います！！

（参加者の保護者より：アンケートより抜粋）最初は「ホールアースは厳しい」と、言っていましたが、最近はスタッフの事を「カッコいい」と、言うようになりました。親や学校の先生以外の大人との信頼関係に基づいた関わりは、他ではないことなので、とても心強く思っています。



DATA

- 全7回／合計98名参加
- お子さまの帰宅後の様子に97%が「満足している」と回答
- 各教育委員会(浜松市、富士市、富士宮市等全8市町)より後援を受けた。

3

@ NIIGATA
柏崎・夢の森公園

令和6年度企業向け防災キャンプ体験プログラム業務

2024年9月11日～12日(試行)、2024年10月2日～3日

“予測不能”をしなやかに乗り越える
アウトドア×ビジネス×防災キャンプ

県内企業の防災力強化、関連産業の活性化及び新潟県らしい「アウトドア×防災」の取り組みをアピールすることを目的に新潟県(産業労働部産業政策課・長岡地域振興局)とコラボレーション。不便さを楽しむアウトドアで培った経験を基に災害時やビジネスシーンでも役立つスキル(チーム力・レジリエンス力・ブリコラージュ的思考の3つを中心としたプログラムデザイン)を体験的に取得できる1泊2日の県内企業向け研修として実施しました。

参加者アンケート

（参加者より）キャンプで培われるブリコラージュ的思考は災害時に必ず活きたと思った。非常時もキャンプも今あるもので問題を解決し、足りない部分は知識や工夫で補う。その部分で共通する部分も多いと感じた。

（参加者より）災害発生時の実践的な技術や知識の学びだけでなく、活動を通してチームビルディング、リーダー、コミュニケーションについて考えるプログラムは普段のビジネスにも気づきを与えてくれる内容で、参加してよかったと本当に思った。焚火を囲んで、感情を裸にして立ち止まってゆっくり考えるという経験はキャンプならではのプログラムと感じた。



DATA

- 試行／定員8名、実証／定員16名の2回実施
- 合計で県内企業13社・団体から19名の参加者が通して参加
- 2回合わせたアンケート回収率80%
- 回答者全員が「非常に良い」「良い」と回答(5段階評価)

2

@ SHIZUOKA
富士山本校

令和6年度ふじのくに美しく品格のある邑づくりワンストップ窓口(東部)運営業務

2024年5月～2025年3月

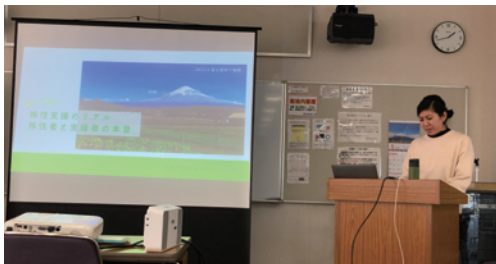
静岡県の多様な地域の活性化のための
サポートをする、地域のための窓口

静岡県や市町が登録する「美しく品格のある邑」などの地域づくりのステップアップ支援を目的とし、地域づくりに関する各種相談・アドバイス等を行うと共に、「しずおか農山村サポーターむらサボ」及びFacebookにて農村地域の多様な情報を100件発信しました。また、地域への移住者を増やすための手法や事例を学ぶ場となる研修会を実施し、移住サポーターとその移住のサポートを受けて移住した方をお招きして、移住に関する本音をお話しいただきました。

参加者アンケート

（研修会参加者より）どんな想いで移住を決めたか、理解できた。移住について、移住者や受け入れ側の失敗事例のニュース(他県などのもの)を聞いていたが、富士宮市(柚野)では受け入れ側がしっかり目的をもって、自分たちの情報を公開しているところが、成功につながっているのではと感じた。

（研修会参加者より）お二人の信頼関係を感じられ、コーディネーターの大切さがわかった。移住された方が今後5年10年と、地域へしっかり根付いていけるように見守ってほしい。



DATA

- HP及びFacebookへの情報発信100件
- 現地取材による資源調査5回
- 研修会1回開催
- 毎月メールマガジン原稿作成

4

@ SHIZUOKA
田貫湖ふれあい自然塾

「親子でなろう！生き物ハカセ」シリーズ

2024年5月25日・6月1日・6月29日・8月10日・12月14日

色んな角度から生き物のフシギにせまる！
親子で生き物ハカセをめざせ！

人は自然なしには生きていけない。「生き物ハカセシリーズ」では、その自然の構成物である生き物たちの生きる工夫や知恵を学ぶことで、改めて「生きる」ということを考えるきっかけを提供しています。自然にはたくさんの生き物がいて人の暮らしと密接なつながりを持っていることを知り、自然への愛着を育むことを目的とし、ムササビの観察、ヘビの生きる力に挑戦！、虫網作り、鳥と話せる道具と巣箱作りなど多様な生き物をテーマとした企画を年間を通して行っています。

参加者アンケート

（ヘビ&巣箱づくり参加者より）手足もないヘビがこんなにたくさん人間にできないことをして生きているのにビックリ！触ったのは初めてで、家でできない体験がたくさんできて大満足です。作った道具で鳥の鳴く声を練習。これで鳥とお話しできると思うのがワクワクします。

（ムササビ観察参加者より）ムササビを初めて見る事ができてよかった。そして、どんな動物なのかその生態を知ることができたのもおもしろかった！同時に、意外と身近な生き物であること、人の暮らしにとっても影響を受けていることを知って、生き物とともに暮らしていける世の中を考えていきたいと思った。



DATA

- ムササビ13組42名、虫網作り6組15名、ヘビ5組17名、鳥の巣箱作り4組8名の合計38組82名が参加
- アンケートでは参加者全員が「大変満足」「満足」と回答

5

@ OKINAWA

がじゅまる自然学校

令和6年度徳之島世界遺産センター管理運営体制構築支援業務

2024年12月7日

世界自然遺産・徳之島の魅力や価値を伝える、 スタッフ研修の実施

令和6年度にオープンした徳之島世界遺産センターの運営スタッフが質の高いインタプリテーションを提供することができるよう、各種研修メニューを実施しました。「環境教育研修」では、具体的な環境問題のケースをもとに、多様な立場を踏まえながら解決方法を考えるワークを実施しました。「コミュニケーション研修」では、「話し方」「聴き方」「問い方」「場の作り方」などをキーワードに、実践的なトレーニングを重ねました。

参加者アンケート

- (受講者より)新設された世界遺産センターにおいて、来訪者に徳之島の魅力や価値を伝えていくうえでの基礎となる考え方や技術を身に付けることができたと思います。
- (受講者より)環境教育やコミュニケーションに関する基本的な考え方や、自分自身のあり方を整理することができました。今回の学びを日常の業務に反映させていきたいと思っています。



DATA

- 世界遺産センター職員5名
- 受講者全員から新たな学びや気づきがあったとのコメントを得た。

7

@ GIFU

モリノス

令和6年度森林総合教育センタープログラム実施等業務委託

2024年4月～2025年3月

指導者のスキルアップを通じて 保育・教育現場に森の体験を広げる

森林総合センターの役割の1つに、指導者のスキルアップがあります。今年度は自然体験活動指導経験者向けの研修プログラムを4回行いました。それぞれ「植物」「草花あそび」「あそび場の運営」「プレイワーカー」をテーマに、第一線で活動する講師と共に現場で体験しながら学びました。保育士・教員・プレイワーカーなど、異なる現場で活動する指導者同士の交流も生まれ、岐阜県内の指導者ネットワークも生まれています。

参加者アンケート

- (参加者より)葉っぱ一枚とっても、その日その時間の環境や、乾燥具合などで作りやすさが変わるので、その違いも見極め、適切な葉っぱを選ぶなど参考になった。湘潭さんの考え方や草花あそびへの想いも聞けて、とても感銘を受けた。
- (参加者より)今回はサマーキャンプで子どもを預かる際に子どものことをより深く観察したいと思い、参加しました。プレイワーカーは、大前提として人としてのあり方を問われる職業であると感じ、その仕事の奥深さに少し感動しました。今回の学びをサマーキャンプに参加する子どもたちへ還元していけたらと思います。素敵な勉強会に参加させていただき、ありがとうございました。



DATA

- 全4回・定員60名に対して、64名が参加
- 内容について参加者の85.3%が「大いに満足した」と回答

6

@ FUKUSHIMA

郡山市少年湖畔の村

冬を思いっきり楽しもう！湖南で雪遊び！

2025年2月16日

雪が多く降る『湖南町』ならではの 冬の自然の中で遊び・学ぶ体験を

郡山市少年湖畔の村では、郡山市へ提案した事業を年間複数回実施。その道の専門家、地域内外で活躍するプレーヤーの皆さんと協働することで、施設の利用可能性の幅を広げ、地域のさらなる価値を見つけるための事業を企画、実施しています。本事業では湖南町で長らく活動されている「ぐるっと湖南伝承会」の方々と一緒に、降り積もった雪の中で遊び、地域の伝統料理を食してもらい、豪雪地の生活の豊かさや楽しさを体験してもらいました。

参加者アンケート

- (保護者より)自然体験も貴重ですし、地域のみなさんや学生ボランティアスタッフのみなさんとの交流も子どもにとってはとてもいい経験になりました。ありがとうございました。
- (保護者より)案内メールも丁寧に頂いて助かりました。今日もスタッフの方々が優しく親切で、親しみがもてより楽しく過ごせました。子供たちが最後まで楽しく過ごすことが出来てスタッフの皆さんには感謝しております。湖南のお母さん方の料理も美味しかったです。ありがとうございました。また参加したいと思っています。



DATA

- 定員30名に対して37名が参加
- 87.5%の方が「満足」との回答

8

@ SHIZUOKA

富士市立少年自然の家

まるび★ちびっこ森の探検隊

2024年7月・12月・2025年3月（長期休みの連続する3日間）

子どもだけで過ごす特別な3日間 仲間といっしょに、はじめての冒険！

丸火自然公園をフィールドに、4-5歳児を対象とした1日預かりプログラム。2018年度からスタートして、夏・冬・春の連続する3日間で開催しました。保育士や幼稚園教諭の資格を持つスタッフが複数対応しています。内容は毎回未定で、その日に出会った仲間と一緒にどう過ごすかを自分たちで考える「非構成型プログラム」。子ども達の自己理解と他者理解、自己決定、創造力などを育むことを目指しています。

参加者アンケート

- (保護者より)友達が出来たよ！と自慢していました。迎えに行った時に少しの間ですごく大きくなったなーと感じました。
- (保護者より)キラキラさせた顔をして、眠くなるまで楽しかったことを延々と話していました。普段今日あったことを話さない子なので、相当楽しかったようです。



DATA

- 定全9回・定員126名に対して110名が参加
- 保護者へのアンケートの満足度は98.1点



企業・行政・団体等との連携事例 [2024-2025]

ホールアース自然学校では、企業・行政・NPO・市民等、様々なセクターと連携することで、多様な事業を実施してきました。そんな中でも特徴的な連携事例をご紹介します。

企業・行政・団体のニーズ例



- ▶ 環境の専門的知見から事業を見直したい
- ▶ CSVを見据えた発展的なCSRを実現したい
- ▶ 社会貢献に資する事業に社員をもっと参画させたい
- ▶ SDGsに基づいて自社事業の設計と促進をしたい

私たちができること



企画提案段階

- ▶ 事業相談
- ▶ 検討会議への参加
- ▶ 業界リサーチ
- ▶ 事業提案 等

企画実施段階

- ▶ 事業連携
- ▶ 事業実施
- ▶ 専門家の派遣
- ▶ 事務局運営
- ▶ コンサルティング
- ▶ コーディネート
- ▶ 事業パートナー紹介

case 1

森・人・地域、すべてが健康になるために

修善の森ヘルスツーリズムプロジェクト

委託元：環境省、三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社



依頼内容

環境省が公募した「良好な環境創出活動推進モデル事業」の採択事業。伊豆市修善寺において、森林保全・健康増進・温泉活用の3つが融合した体験プログラムを地域関係者と共に造成すること。

協働内容

地域の観光協会や旅館組合、森林セラピーや温泉浴の専門家等を連携したチームを立ち上げ、体験プログラムを構築した。モニターツアーでは、森林体験と温泉体験の健康効果について簡易的な調査を実施した。

主な成果

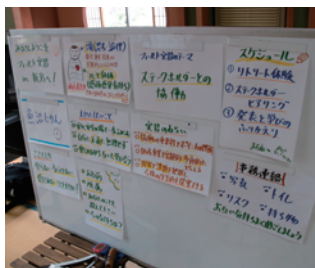
森林保全・健康増進・温泉活用を融合させた体験プログラムが完成。周知のためのリーフレットも作成。健康効果については学会にも発表した。

case 2

環境活動の現場から実践的な学びを得る

地球環境基金若手PJリーダー研修

委託元：独立行政法人環境再生保全機構



依頼内容

地球環境基金から助成を受けて活動している環境NPOの、中核スタッフ向け研修プログラム。ホールアース自然学校が多主体連携型で進めるプロジェクトの現場に赴き、連携・協働の要点を学ぶことがねらい。

協働内容

ホールアース自然学校が人材育成面で関わりを持っている「雪国リトリート」の取組みを事例として提供。受講者には、多様なステークホルダーへのインタビューやリトリートのミニ体験等を通して、連携・協働の要点を実感してもらった。

主な成果

受講者は、研修で得た学びを自らが進めるプロジェクトに引き付け、活動計画をブラッシュアップすることにつながることができた。

case 3

みんなでつくり、みんながつかう富士山麓IP全体計画

令和6年度富士箱根伊豆国立公園富士山麓トレイルを活用した感動体験創出業務

委託元：環境省関東地方環境事務所、日本工営株式会社



依頼内容

富士山麓東海自然歩道の資源・価値・ストーリーをまとめたIP全体計画の作成、コンテンツ造成を通し国立公園として感動的な自然体験を提供することで、来訪者の満足度の向上と地域経済へ寄与していくこと。

協働内容

①企画段階でより具体性と重要性を高める ②現地のキーパーソンの推奨及びコミュニケーション ③現地ワークショップ、モニターツアーの実施 ④IP全体計画のテーマ文の作成、参考文献との照合

主な成果

ワークショップで交流ができた他業種の方々と資源と体験について深められ、テーマ文とイラストがあるわかりやすいIP全体計画とハンドブックが完成した。

case 5

学習支援に通う子ども達向けのサマーキャンプ実施

アスイクキャンプの開催

委託元：特定非営利活動法人アスイク

依頼内容

震災で浮き彫りとなった子ども達の貧困。日常の学習支援のみならず、長期休暇中の課外活動も実施する中で、なかなか体験できない大自然の中でのサマーキャンプを実施すること。

協働内容

子ども達の夏休み期間中に、1泊2日×2回、各回30名、計60名の子ども達と一緒に、福島県裏磐梯地域の大自然の中でのサマーキャンプを実施した。

case 4

30by30達成へ向けた自然共生サイト認定促進

令和6年度生物多様性セミナー等運営業務

委託元：静岡県



依頼内容

環境省が進める自然共生サイト認定取得を促進するため、生物多様性セミナー・現地見学会を開催すること、また、相談窓口を設置し取得促進をサポートすること。

協働内容

セミナー 3回、現地見学会2回の合計5回のイベントを開催し普及啓発を図ると共に、相談窓口を通じて関心のある主体や課題を抱える団体に対し助言などを行った。

主な成果

企業・行政（基礎自治体）・民間保全団体等の主体に対し自然共生サイト認定取得の価値や可能性を周知できたほか、数団体の認定取得を促すことができた。



主な成果

2017年から協働を開始し、2022年から年2回開催。今年で9年目。参加人数は300名を超える。自然体験の機会が少ない子ども達の夏の思い出作りができた。

会計報告

2024年度は各拠点において順調に活動が展開され、企業や行政との協働取組も数多く実施されました。

また、「郡山市少年湖畔の村」の指定管理業務もスタートし、事業費が大きく拡大しました。最終的には約860万円を次期に繰り越すことができ、経営的な安定が図られた1年になりました。次年度は、これまで継続してきたいくつかの事業が縮小される見込みもあるため、収支のバランスに留意しながら、新規事業の構築にも尽力してまいります。

2024年度 活動計算書(抜粋)		
経常収益	1.受取会費	65,000
	2.受取寄附金	23,161,388
	3.受取助成金等	2,050,000
	4.事業収益	352,729,002
	5.その他収益	1,960,155
経常収益計		379,965,545
経常費用	1.事業費 (1)人件費	193,260,311
	(2)その他経費	140,507,405
	2.管理費	26,812,180
	経常費用計	371,071,247
当期経常増減額		8,894,298
経常外収益		272,470
経常外費用		49,280
税引前当期正味財産増減額		9,117,488
法人税・住民税及び事業税		1,663,000
当期正味財産増減額		7,454,488
次期繰越正味財産額		8,608,604

ごあいさつ

2024年度も、たくさんの皆様の支えをいただきながら、多種多様な活動を展開することができました。心より感謝申し上げます。

日々の自然体験活動の現場では、ご参加いただいた多くの皆様と共に、自然の魅力や不思議を感じ取り、その価値や大切さを確認することができています。社会では、ネイチャーボジティブやウェルビーイングなどのキーワードが今後の大きな目標として掲げられていますが、私たちが創設以来大切にしている「自然語で話す」(自然からのメッセージを受け取り、自らの行動に反映させる)という営みこそが、こうした社会の大目標を支えていくものと考えています。次年度以降も、地に足の着いた取り組みを、各拠点で実践してまいります。

役員紹介(2025年9月現在)



代表理事
山崎 宏



副代表理事
広瀬 麗子



副代表理事
大武 圭介

理 事

浅子 智昭

遠藤 亮

小野 比呂志

小林 政文

角田 周一

諏訪 さやの

平野 達也

和田 祐樹

従業員数(パート・アルバイトを含む) 55名

活動拠点(2025年9月現在)



富士山本校 [直営]

〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165
TEL 0544-66-0152 FAX 0544-67-0567
WEB <https://wens.gr.jp>



田貫湖ふれあい自然塾 [委託]

〒418-0107 静岡県富士宮市佐折633-14
TEL 0544-54-5410 FAX 0544-54-6400
WEB <http://www.tanuki-ko.gr.jp>



富士市立少年自然の家／丸火自然公園 [指定管理]

〒417-0801 静岡県富士市大淵10847-1
TEL 0545-35-1697 FAX 0545-36-2799
WEB <https://www.fuji-marubi.jp>



がじゅまる自然学校 [直営]

〒905-1143 沖縄県名護市真喜屋845
TEL 0980-58-1852 FAX 0980-58-1852
WEB <http://www.wens.gr.jp/gajumaru>



福島事務所 [直営]

〒963-1633 福島県郡山市湖南町福良字中浜3953-46
TEL 024-984-6411 FAX 024-983-6722
WEB <https://wens.gr.jp/fukushima>



柏崎・夢の森公園 [指定管理]

〒945-1355 新潟県柏崎市大字軽井川4544-1
TEL 0257-23-5214 FAX 0257-23-5113
WEB <https://yumenomori-park.jp/>



郡山市少年湖畔の村 [指定管理]

〒963-1413 福島県郡山市湖南町横沢村西112
TEL /FAX 024-982-2115
<https://www.kohannomura.com/>

2024年度に実施したその他の事業 (一部抜粋・順不同)

- 富士山「まなびの森」環境学習支援プロジェクト(住友林業株式会社)
 - 管理捕獲等担い手育成研修運営業務(静岡県)
 - 伊東自然歴史案内人養成講座(静岡県伊東市)
 - 森林環境教育指導者養成講座業務(静岡県)
 - 森・里・川・海のつながり学習会・実践活動業務(静岡県)
 - 「ろうきん森の学校」事業(労働金庫連合会)
 - 2024年度「王子の森・自然学校」(王子ホールディングス株式会社)
- 生物多様性センター休日運営管理業務(環境省)
 - 森林空間活用支援事業業務(静岡県)
 - 環境学習指導員等フォローアップ研修業務(静岡県)
 - 農村次世代関係人口創出事業(静岡県)
 - 南アルプス魅力発信・環境学習サイト授業モデルプログラム作成業務(静岡県)
 - 緑の少年団交流集会開催業務(公益財団法人静岡県グリーンバンク)

特定非営利活動法人ホールアース自然学校

〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165
TEL 0544-66-0152 FAX 0544-67-0567
E-mail info@wens.gr.jp

Website



note

